

社会科学学習指導案

1 単元名 世界平和の実現を目指して

2 単元について

本単元では、世界平和の実現に向けて、国際協調の観点から、国家間相互の主権の尊重と協力、各国国民の相互理解と協力及び、国際連合などの国際機構などの役割が大切であることを理解させることを目指している。中でも北方領土をはじめとする領土問題については、正しい知識をもち、平和的な解決に向けて今も努力が続けられていることを知った上で、日本の主権者の一人として、主体的に解決の方法を考えさせることは大切である。

生徒は、領土問題について、位置やどの国が領有権を主張しているかなどの基礎的な知識は身に付いている。しかし、実際に領有権を主張している国々がどのような行動をとり、元島民が墓参りに自由に行けないなど、苦しい立場に置かれていることなどについて理解している生徒は少ない。

本時では、「北方領土問題」を取りあげる。まず元島民や現島民、漁師など様々な人々の立場に立って考える。次に、こうした多様な思いや考えを踏まえつつ、この問題を平和的に解決するにはどうしたらよいかを日本の首相という立場で考えてみる。そうすることで、国家間の対立も最善とまではいかななくても合意に至る方策を採ることができるということを当事者感をもって理解させることができると考えた。グループでの意見交換を通して、多様な考えを引き出したい。

3 指導計画（3時間）

- (1) 国家と国際社会 ----- 1時間
- (2) 領土をめぐる問題 ----- 1時間
- (3) 北方領土問題を考えよう ----- 1時間（本時）

4 本時の学習

- (1) ねらい
  - ・北方領土問題に対して、資料を基に多面的・多角的に考察し、自分の意見を表現することができる。
- (2) 展開 ◎研修主題に対する手立て ◇自尊感情を高める手立て △Cの生徒への手立て

学 習 活 動	配時	指 導 上 の 留 意 点 ・ 評 価
<p><b>説明</b></p> <p>1 前時の確認を行う。</p> <p>2 本時の学習課題を知り、学習の見通しをもつ</p>	<p>7</p> <p>1</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北方四島の位置と名称や領土問題について確認する。</li> </ul>
<p>北方領土問題を平和的に解決するためにはどうしたらよいのだろうか。日本の首相になったつもりで考えよう。</p>		
<p><b>理解確認</b></p> <p>3 資料を基に自分の意見を考え、ノートに記入する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・元島民の人が墓参などを自由に行えるようにすればよい。</li> <li>・ロシアとの交流をもっと続けていくべきだ。</li> <li>・北方領土を日本とロシアで共同開発</li> </ul>	<p>8</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料として、元島民の声、現島民の声、根室で操業している漁師の声、日露の政府見解、根室内の様子、現在の島の様子などを準備する。</li> <li>・日本の首相として、様々な人々の立場を考えるよう助言する。</li> <li>◇机間指導で、平和的解決について考えている生徒を褒めて、自信をもたせる。</li> </ul>

<p>していくべきだ。</p>	<p>△意見を書けない生徒に、元島民や漁師はどうしてほしいのか、考えるよう助言する。</p>
<p><b>理解深化</b></p>	
<p>4 グループで意見を発表し合う。</p>	<p>10</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・班員の発表を聞いて、自分の意見を変えてもよいことを伝える。</li> <li>・どの意見がよりよい平和的解決方法か考えるよう指示する。</li> </ul>
<p>5 グループで話し合っ、よりよい解決方法について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北方領土は、日本の領土だから返還してもらわなければならないが、すぐには難しいので、ビザ無しで自由に行き来できるようにすればよい。</li> <li>・主権が日本に戻っても、今現在住んでいるロシアの島民などは、そのまま居住できるようにする。</li> </ul>	<p>12</p> <p>◎グループで自分の主張を相手に伝わるように工夫して発表し合っ、様々な立場の人々が納得できる解決方法を考えるよう指示する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホワイトボードに各班の解決方法について記入するよう指示する。</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>[思考・判断・表現]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料を基に、北方領土問題について多面的・多角的に考え、意見を表現することができたか。</li> </ul> <p style="text-align: right;">【観察・ノート】</p> </div>
<p>6 全体で発表する。</p>	<p>10</p> <p>◎他の班の発表を聞いて、賛成できる点や疑問に思ったことを発表するよう指示する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対話的な学びになるよう、指名を工夫する。</li> </ul>
<p><b>自己評価</b></p>	
<p>7 今日の授業の自己評価をする。</p>	<p>2</p>
<p><b>家庭学習の提示</b></p>	
<p><b>復習</b> 他の班の発表を聞いてよりよい平和的解決についてノートに記入する。</p>	

- (3) 授業の視点
- ・資料の内容や提示の仕方は、対話を生み出し、多面的・多角的に考える上で有効であったか。

(4) 板書計画

北方領土問題について、平和的解決を図るために、日本の首相として何ができるだろうか。

元島民の声      政府見解      漁師の声・・・

ホワイトボード